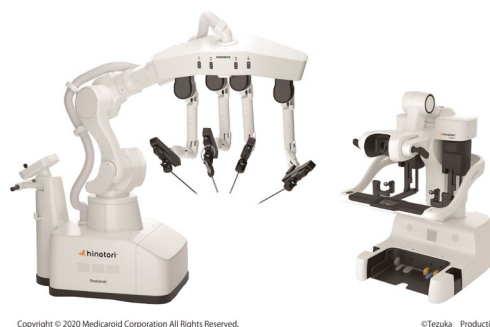


藤田医科大学に国内 2 カ所目となる国産手術支援ロボット
「hinotori™ サージカルロボットシステム」
トレーニング・研究 施設が開所

藤田医科大学（愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98、学長 才藤栄一）は株式会社メディカロイド（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長 浅野薫 以下「メディカロイド」）と、1 月 14 日に日本初の国産手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」（以下「hinotori™」）のトレーニング及び遠隔手術等の研究・実証実験施設として「メディカロイド インテリジェンス ラボラトリー 名古屋（略称：MIL™-Nagoya）」を学内に開設します。



【トレーニング・研究施設の概要】

施設名：メディカロイド インテリジェンス
ラボラトリー 名古屋

設立：2021 年 1 月 14 日

内容：hinotori™ サージカルロボットシステムを臨床使用するためのトレーニング及び遠隔手術環境を構築する研究の実施



本学に開所した国内 2 カ所目の施設

メディカロイド インテリジェンス ラボラトリー 名古屋（略称：MIL™-Nagoya）

MIL™-Nagoya は、昨年 12 月に神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター内に設置された MIL™-Kobe に続き、国内で 2 カ所目の hinotori™ のトレーニング施設となります。本学は MIL™-Nagoya を通して、次世代の外科医療を創出し、医療の発展に寄与することをめざします。

遠隔手術環境の構築をめざして

これまで本学はロボット手術の先駆的存在として、地域や国を問わず技術指導を行ってきました。日本におけるロボット手術の成績が海外をしのぐ理由として、これら組織横断的な指導体制が大きく貢献していると考えられます。しかし、急速なロボット手術の普及とコロナ禍は、ロボット手術の指導医育成にも影響を与えており、遠隔手術や遠隔トレーニングを行える環境づくりは急務といえます。

本施設では「hinotori™」を基盤として、日本が得意とする根治性が高く合併症が少ない精緻な先端外科手術を広く浸透させるとともに、ロボットや高速通信、AI などのテクノロジーを駆使

した遠隔手術環境を構築する研究を進めます。

hinotori™ サージカルロボットシステム

メディカロイドが開発した日本初の国産手術支援ロボットシステムです。手術器具や内視鏡を取り付けた 4 本のアームが特徴で、医師は患者さんの体から離れたコックピットで内視鏡の立体画像を確認しながら遠隔でアームを操作して手術をします。

メディカロイドは産業用ロボットのリーディングカンパニーである川崎重工業株式会社と検査・診断の技術を保有し、医療分野に幅広いネットワークを持つシスメックス株式会社が共同出資し 2013 年に設立されました。

「hinotori™」の名称は、医師でもあった漫画家・手塚治虫氏の代表作「火の鳥」にちなんでつけられました。「人に仕え、人を支える」ロボットというコンセプトに手塚プロダクションのご賛同をいただき、ロゴにはプロダクション公認の「火の鳥」がデザインされています。